

平成11年度第1回幹事会報告

平成11年4月22日

国立京都病院

[報告・協議事項]

事務局(総務・会計)：(1)会長交替の挨拶状発送(04/01)。(2)平成11年度の役員委嘱願いの発送(04/06)。(3)平成11年度の会費請求書の発送(04/15)。(4)第70回日本医学図書館協会総会(5/20-21福岡)に事務局長(小田中徹也)が出席の予定。(5)第74回近畿地区医学図書館協議会例会(04/28和歌山県立医科大学)に事務局長(小田中徹也)と会員の伊東りつ子(和歌山労災病院)の両名が出席予定。(6)新会員(4/1付)うえに病院(大阪府)高知市立市民病院(高知県)(8)会員異動：総務で集計中。(9)第5回共同事業運営会議(05/08聖路加)に小田中徹也、首藤佳子、須井麻由美が出席予定。共同事業運営会議構成メンバーとして、小田中、首藤の両名の他、今年度から、大橋真紀子に代わり須井麻由美に依頼。主にインターネット・プロジェクトの担当予定。大橋真紀子は、林伴子、浜口恵子両氏と同様に事業協力者として引き続き事業に参加。なお、このうち病院図書館員資格認定制度検討班では4月17日に近畿地区の班会議を開き、カリキュラム案の最終チェックを行った。(別掲報告書参照)(10)東海地区医学図書館協議会より病図協の総合目録1997年版の書誌データを流用させてほしい旨の要望があった。必要な条件の下でなら流用してもらうことにした。

研修部：第89回研修会(事例研究報告会)の参加者は36名であった。発表は4題であったが、内容的には濃く好評であった。また、夏の合宿セミナーについては、他の研修会の日程を考慮し、8月27、28日に大津市で開催する計画とした。

会誌編集部：第18巻1号の発行経過と第19巻1号の発行予定について報告があった。19巻1号では原稿の収集に時間を要したことなどが、発行遅れになったとの反省点が出された。

また、2号と3号の編集企画と原稿の集まり状況の報告があった。さらに、今年度の編集体制についても提案が出され、了承された。統計調査部：年次統計調査の病院図書室研究会との共同事業化について、病図研から共同事業化の打診があった。その検討準備として、双方で調査項目の照合をすることにした。第5回共同事業運営会議で協議課題として予定。この項、別掲報告書参照。

目録編集部：現行所在目録の作成について、基本的には従来どおりの目録を作成する。7月中にデータ集計の依頼状発送。総合目録データベース「Lettura」の開発経過については、5月13日、三菱京都病院でモニター講習会を開く予定。

[協議・決定事項]

(1)幹事役割分担および会員部員

(◎)部長、(○)副部長)

事務局：会計：松本純子 総務：山崎捷子
 研修部：◎林伴子 ○田中典子 中村雅子
 田中文字子 亀井真由美 岸田郁葉

注：山室真知子は相談役として、小田中徹也は事務局長として部会に出席予定。

会誌編集部：◎森川治美 ○須井麻由美
 浜口恵子 中嶋和子 大橋真紀子 堀江亜由美 春日井泉江 前田元也(協力員)

統計調査部：◎山崎捷子 木下久美子 田中文字子

目録編集部：◎山室真知子 西村和代

(2)協議会パンフレットの作成について
 山室真知子が編集責任者として担当し、関係者が執筆して作成する。

(3)前田元也氏作成の「図書室業務引継マニュアル」の一般化について

西淀病院での引継ぎ時に作成された「図書室業務引継マニュアル」を一般化し、病図協の事業としてインターネット上でまず公開する。この件については前田氏に協力を要請する。

(4)次回幹事会は7月8日、三菱京都病院で開催予定。

(文中、会員関係者については敬称略)